

# 製品安全データシート

製造者情報	会社名 : 日本ケミカル工業株式会社 住所 : 〒424-8558 静岡県静岡市清水吉川 813 番地 担当部門 : 技術部 開発 1 グループ 担当者 : 田見 秀行 電話番号 : 0543-45-3476 F A X 番号 : 0543-47-6865 作成日 : 2003 年 12 月 3 日																																			
製品の特定	製品名 : トヨタ純正スーパーロングライフクーラント 製品分類 : 不凍液 主な用途 : 内燃機関用冷却液																																			
物質の特定	単一製品・混合物の区別 : 混合物  含有成分及び含有量(危険有害物質を対象) <table border="1" data-bbox="444 842 1500 1188"> <thead> <tr> <th>成分(化学名)</th> <th>化学式</th> <th>含有量 %</th> <th>化審法 No.</th> <th>安衛法 No.</th> <th>PRTR 法 No.</th> <th>CAS No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エチレングリコール</td> <td>HOCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH</td> <td>88</td> <td>2-230</td> <td>76</td> <td>1-43</td> <td>107-21-1</td> </tr> <tr> <td>水酸化カリウム</td> <td>KOH</td> <td>3 未満</td> <td>1-369</td> <td>非該当</td> <td>非該当</td> <td>1310-58-3</td> </tr> <tr> <td>リン酸</td> <td>H<sub>3</sub>PO<sub>4</sub></td> <td>1 未満</td> <td>1-422</td> <td>非該当</td> <td>非該当</td> <td>7664-38-2</td> </tr> <tr> <td>上記成分の他、危険有害性物質に該当しない防錆剤、消泡剤、染料、水</td> <td></td> <td>8~12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 国連分類及び国連番号 : 該当なし	成分(化学名)	化学式	含有量 %	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	CAS No.	エチレングリコール	HOCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> OH	88	2-230	76	1-43	107-21-1	水酸化カリウム	KOH	3 未満	1-369	非該当	非該当	1310-58-3	リン酸	H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub>	1 未満	1-422	非該当	非該当	7664-38-2	上記成分の他、危険有害性物質に該当しない防錆剤、消泡剤、染料、水		8~12				
成分(化学名)	化学式	含有量 %	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	CAS No.																														
エチレングリコール	HOCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> OH	88	2-230	76	1-43	107-21-1																														
水酸化カリウム	KOH	3 未満	1-369	非該当	非該当	1310-58-3																														
リン酸	H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub>	1 未満	1-422	非該当	非該当	7664-38-2																														
上記成分の他、危険有害性物質に該当しない防錆剤、消泡剤、染料、水		8~12																																		
危険有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : 危険物 第 4 類第 3 石油類 危険等級Ⅲ 水溶性に該当。 有害性 : 飲用不可・毒性あり(腎臓障害)。 環境影響 : 知見なし。																																			
応急処置	<p>【目に入った場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちに大量の清浄な流水で十分洗う。瞼の裏まで完全に洗う。</li> <li>・もし刺激があれば、医師の診察を受ける。</li> </ul> <p>【皮膚に付着した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付着液を紙・布にて素早く拭き取る</li> <li>・大量の水及び石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とす。</li> <li>・外観の変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診察を受ける。</li> </ul> <p>【吸入した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に吸入するものではないが、充填する場合、換気の良い所で行う。</li> <li>・誤って大量のガス等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かく安静にする。呼吸が不規則な場合や、吐き気がする場合には、医師の診察を受ける。</li> </ul> <p>【飲み込んだ場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちに大量の水を飲ませて吐かせ、様子を見る。</li> <li>・様子が異常が感じられる場合は、医師の診察を受ける。</li> </ul>																																			

火災時の措置	<p>消火方法 : 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除く。 大規模火災には水又は消火剤を使用する。</p> <p>消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、ハロゲン消火剤</p>
漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙などを用いて吸着させて空容器に回収する。その後、漏出区域周辺を水で洗い流す。</li> <li>・大量の場合は、土嚢で流出を防ぎ、ポンプなどで吸い取る。</li> <li>・着火に備えて、適切な消火器を準備する。</li> <li>・漏出付近から可燃性のものを速やかに取り除く。</li> <li>・河川などに排出しないように注意する。</li> <li>・廃棄物は、関係法令などに基づいて処理する。</li> </ul>
取扱い及び保管上の注意	<p>【取扱い上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定数量以上の量を取り扱う場合は、法に定められた基準に満足する製造所、取扱所で行う。</li> <li>・周辺での火気・スパーク・高温物の使用は避けること。みだりに蒸気を発生させない。</li> <li>・換気の良い場所で使用する。(整備工場等の場合)</li> <li>・静電気が発生する恐れのある設備には、蓄積する静電気を除去する装置を設ける。(ポンプなど送液する場合は、流速6m/s以下に抑える)</li> <li>・多量に使用する場合は、皮膚、目、顔を保護する適切な保護具を着用する。</li> <li>・容器はその都度密栓する。</li> <li>・使用時における関係法令(量販店等で販売される個包は除く) 消防法(第10条、13条)、危険物の規制に関する政令(24、25、27条)</li> </ul> <p>【保管上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺での火気・スパーク・高温物と接近する場合、みだりに蒸気を発生させる場所は避ける。 (危険物の規制に関する政令第25条)</li> <li>・類の異なる危険物と同一の貯蔵所に貯蔵しない。(同第26条)</li> <li>・保管時における関係法令 消防法(第9条3、10条)、危険物の規制に関する政令(第24～26条) 危険物の規制に関する規則(第39条)</li> </ul>
暴露防止装置	<p>管理濃度 : 知見なし</p> <p>【設備対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用先を十分配慮の上対応する。</li> <li>・整備工場等で取り扱う場合は、吸排気が十分取れる設計を取る。</li> <li>・ライン設備の場合、液の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてアースを取るように設置する。</li> </ul> <p>【保護具】</p> <p>呼吸保護具 : 必要に応じて有機ガス用マスクを使用する。      目の保護具 : 必要に応じて保護メガネを使用する。      皮膚の保護具 : 必要に応じて耐油性手袋、保護前掛けを使用する。      その他 : 導電性安全靴</p>
物理的／化学的性質	<p>外観 : 桃色透明液体</p> <p>密度(20℃) : 1.130g/cm<sup>3</sup></p> <p>蒸気圧 : 知見なし</p> <p>溶解性 : 水に易溶</p> <p>沸点 : 164℃</p> <p>pH : 8.0</p>

<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : 128℃          発火点 : 知見なし 燃焼性あり (エチレングリコール: 398℃)          爆発限界 : 知見なし (エチレングリコール 上限15.3% 下限3.2%)          反応性・安定性 : 酸化性、自己反応性、爆発性 いずれもなし          その他の危険性情報 : 特に情報なし</p>												
<p>有害性情報</p>	<p>製品に関する有毒性情報: 知見なし</p> <p>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</p> <table border="1" data-bbox="456 512 1503 716"> <thead> <tr> <th>物質名</th> <th>許容濃度 ACGIH 勧告値 (TLV/TWA)</th> <th>その他有害性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エチレングリコール</td> <td>39.4 ppm (100 mg/m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水酸化カリウム</td> <td>2 mg/m<sup>3</sup></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>リン酸</td> <td>1 mg/m<sup>3</sup></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>組成物質に関するその他有害性情報</p> <p>エチレングリコール          急性毒性: ラット経口 LD<sub>50</sub> 8540mg/kg マウス経口 LD<sub>50</sub> 7500mg/kg          ラット皮下 LD<sub>50</sub> 5300mg/kg マウス皮下 LD<sub>50</sub> 5300mg/kg</p> <p>水酸化カリウム          急性毒性: ラット経口 LD<sub>50</sub> 273mg/kg</p> <p>リン酸          急性毒性: ラット経口 LD<sub>50</sub> 1530mg/kg ウサギ経皮 LD<sub>50</sub> 2740mg/kg</p>	物質名	許容濃度 ACGIH 勧告値 (TLV/TWA)	その他有害性	エチレングリコール	39.4 ppm (100 mg/m <sup>3</sup> )	—	水酸化カリウム	2 mg/m <sup>3</sup>	—	リン酸	1 mg/m <sup>3</sup>	—
物質名	許容濃度 ACGIH 勧告値 (TLV/TWA)	その他有害性											
エチレングリコール	39.4 ppm (100 mg/m <sup>3</sup> )	—											
水酸化カリウム	2 mg/m <sup>3</sup>	—											
リン酸	1 mg/m <sup>3</sup>	—											
<p>環境影響情報</p>	<p>知見なし</p>												
<p>廃棄上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P R T R法に指定される物質を含有しており、廃棄の際は関連法規の定めるところに従う。</li> <li>・ 廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</li> <li>・ 容器、機械装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。</li> <li>・ 焼却処理する場合、安全で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害又は損傷を及ぼす恐れがないように注意する。</li> </ul>												
<p>輸送上の注意</p>	<p>共通 : 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。          陸上輸送 : 消防法等の輸送について定めるところに従う。          海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。          航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。</p>												
<p>主な適用法令</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防法              危険物 第4類第3石油類 危険等級Ⅲ 水溶性に該当</li> <li>・ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (P R T R)              第一種指定化学物質 (エチレングリコール) を含有</li> <li>・ 労働安全衛生法              名称等を通知すべき有害物 (エチレングリコール) を含有</li> <li>・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> <li>・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律              D類物質等に該当</li> </ul>												

その他	<p>主な引用文献</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 溶剤便覧</li><li>・ 危険防災救急便覧</li><li>・ 急性中毒処置の手引き</li></ul> <p>本製品は J I S K 2 2 3 4 該当製品です。</p>
-----	--

#### 記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分ご注意下さい。